

# UDトラックス（株）＜ポスト新長期規制適合の大型車、中型車＞

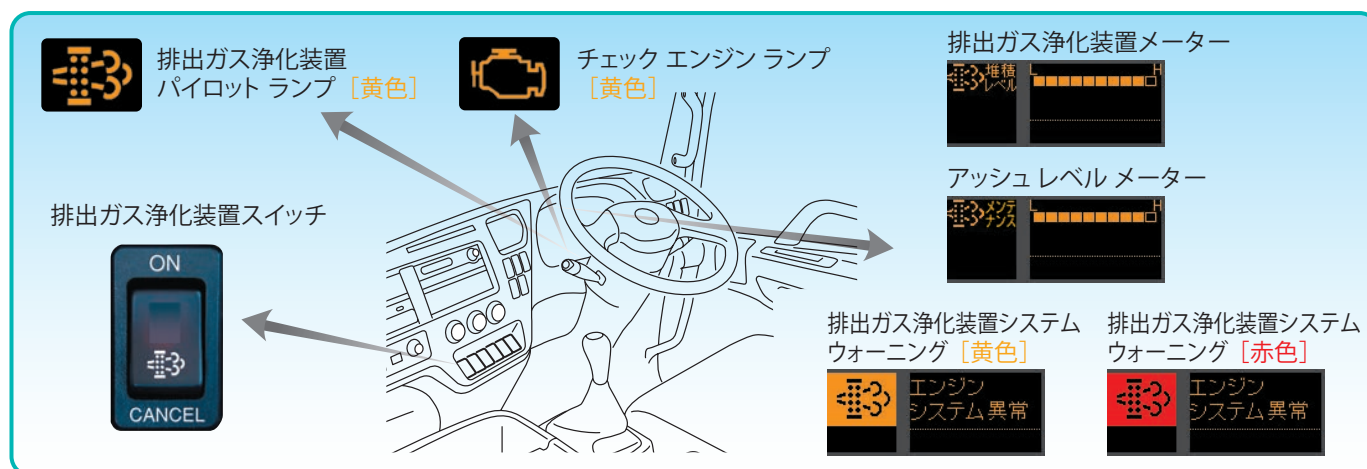
UDPC（UDパーティキュレート クリーニング）の正しい取扱方法

（注）新短期～ポスト新長期規制適合の小型車は「いすゞ自動車」を、新短期～新長期規制適合の中型車は「日野自動車」をご覧ください。

## UDPC (UDパーティキュレート クリーニング)

UDPC（UDパーティキュレート クリーニング）のスス堆積量表示と対応方法および取り扱いについて説明。

### スス堆積量表示と対応方法について



### スス堆積量表示と手動クリーニング操作

スス堆積状態	スス堆積量										
	レベル0								レベル1	レベル2	レベル3
スス堆積レベル表示 [ポイント]	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
再生要求と警告表示											
手動クリーニング操作	不要				可能				必須	不可	
エンジン トルク制限	非作動								作動		
エンジン シャットダウン (エンジン自動停止)	非作動								作動		

### アドバイス

- ・ 次のいずれかの状態で使用すると自動クリーニングが作動しない場合があるため、排出ガス浄化装置パイロットランプが点滅する頻度が多くなります。
- ＊ 低速走行が主体の場合
- ＊ 頻繁にエンジンの始動、停止を行う走行が多い場合
- ＊ 短い距離の走行を繰り返す場合
- ＊ 毎回エンジンが暖機される前にエンジンを停止する場合

#### スス堆積状態： レベル0

レベル0の場合は手動クリーニング操作の必要はありません。ただし、スス堆積レベルが「6～8ポイント」の場合は、手動クリーニングが可能です。



排出ガス浄化装置メーター

#### スス堆積状態： レベル1

排出ガス浄化装置パイロットランプが点滅したら、すみやか（目安は200km走行以内）に手動クリーニングを行ってください。レベル1以降、トルク制限が徐々に作動します。



#### 手動クリーニング操作方法

1. 安全な場所に停車します。  
エンジンはアイドリング運転のままにします。
2. パーキングブレーキを確実に作動させて、シフトレバーを「N」位置にします。  
PTO付仕様車はPTOスイッチを「OFF」位置にします。

#### 警告

手動クリーニングを行う際は、排気口付近に可燃物がないことを確認してください。

#### 注意

レベル1のまま走行を続けしないでください。ススの堆積量に応じてトルク制限が行われエンジン出力が低下します。

3. 排出ガス浄化装置スイッチの“ON”側を押します。  
排出ガス浄化装置再生中ウォーニングが表示されます。  
アイドル回転数が上昇します。



4. 約25分間（エンジン暖機状態の場合）お待ちください。  
排出ガス浄化装置再生中ウォーニングが消えたらクリーニング終了です。

### スス堆積状態：レベル2

チェック エンジン ランプと排出ガス浄化装置システム ウォーニング（黄）が表示された場合は、さらにトルク制限が行われエンジン出力が低下します。

すみやかに最寄りのUDTトラック販売会社のサービス工場にて点検・整備を受けてください。



### スス堆積状態：レベル3

排出ガス浄化装置システム ウォーニング（赤）が表示された場合は、ブザーが鳴るとともに約10秒後アクセルペダルの操作ができなくなり、強制的にアイドル回転数になります。エンジン保護のため、徐々に車速が下がり車両が停止または停止する直前にエンジンが自動停止します。ただちに最寄りのUDTトラック販売会社のサービス工場に連絡してください。



## アドバイス

- やむを得ず、途中でクリーニングを中断する時は、排出ガス浄化装置スイッチの“CANCEL”側を押してください。
- ギヤを入れるなどして中断した場合は、一度エンジンを停止し、キー スイッチを約10秒以上“LOCK（OFF）”位置にしてから再始動してください。チェック エンジン ランプが点灯することがあります。
- クリーニングが終了しないうちに走行すると、再び排出ガス浄化装置パイロットランプが点滅します。
- クリーニング中は、アイドル回転数が上昇するとともに、エキゾースト ブレーキが作動します。そのため、作動音がしますが異常ではありません。（このときは、エキゾースト ブレーキ パイロット ランプは点灯しません。）また、排気温度を制御するため、上昇したアイドル回転数が下がり、エキゾースト ブレーキが解除される場合があります。手動クリーニングは排出ガス浄化装置再生中ウォーニングが消えるまで行ってください。

### 注意

レベル2のまま走行を続けるとUDPC（UDパーティキュレート クリーニング）の故障につながります。すみやかに最寄りのUDTトラック販売会社のサービス工場にて点検・整備を受けてください。

### 注意

万一、排出ガス浄化装置システム ウォーニング（赤）が表示された場合は、ただちに安全な場所に停車し、最寄りのUDTトラック販売会社のサービス工場に連絡してください。

## UDPC（UDパーティキュレート クリーニング）の取り扱いについて

以下の現象は故障ではありません。

停車中、アイドル回転数が変化することがあります。

- 信号待ちなどで停車し、アイドル回転になったとき。（自動クリーニング中またはマフラー温度制御中）
- 長時間アイドル回転を続けている場合。（白煙発生防止のため、ときどき回転数が上昇します。）

白煙が発生することがあります。

- マフラー出口から白煙が排出されることがあります。  
\* 水蒸気が排出されるためです。  
\* 排気温度が十分に上昇すれば消えます。
- 雨天走行後や洗車後の手動クリーニングでは、マフラー表面から白煙が発生することがあります。  
\* マフラー表面に付着した水分が蒸発して水蒸気が発生するためです。
- 指定以外の燃料を使用した場合は、白煙が発生し続けることがあります。エンジンや排出ガス浄化装置などに悪影響をおよぼし、故障する恐れがありますので、必ず超低硫黄軽油（S10）を使用してください。

排出ガスの臭いが従来のディーゼル車と異なります。

- 触媒を通じて排出ガスを浄化しているため異なった臭いになります。

自動クリーニング中はアイドル ストップ システムが作動しない場合があります。

### UDPC（UDパーティキュレート クリーニング）の定期清掃について

UDPC（UDパーティキュレート クリーニング）用フィルター一体型マフラーは、その性能を維持するために、定期的（GH5型エンジン搭載車：2年または20万km走行のどちらか早い方毎、GH7、GH11、GH13型エンジン搭載車：2年または25万km走行のどちらか早い方毎）に清掃を行う必要があります。これは、燃焼除去できるススとは別に燃えないアッシュ（灰）がフィルター内に堆積していくためです。アッシュの堆積量の目安は、アッシュレベルメーターで確認してください。清掃は最寄りのUDTトラック販売会社のサービス工場にお申し付けください。

### エンジン オイルについて

UDPC付き車のエンジン オイルの補充または交換には、必ずメーカー指定の低アッシュ（灰分）「VDS-4（DH-2）規格」オイルを使用してください。「VDS-4（DH-2）規格」以外のエンジン オイルを使用すると、UDPCへのアッシュの堆積が早まり、目詰まりが起きやすくなります。アッシュはオイルの燃えかす（灰分）で、主にオイルの添加剤成分から生成される物質です。アッシュの生成を最小限に抑えるためにも、必ずメーカー指定オイルを使用してください。